



日本ホーリネス教団
神奈川教区

秦野開拓教会

2007年 8月 26日

Vol.4 No.3

開拓だより from はだの

こわすに時があり、建てるに時があり

教区長 上中 栄



《こわすに時があり、建てるに時があり》（伝道の書第3章3節）

《わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう》（マタイによる福音書第16章18節）

秦野開拓で会堂の話が持ち上がってきた矢先、中越沖地震で柏崎聖光教会の礼拝堂が全壊するというニュースが飛び込んできました。《こわすに時があり、建てるに時があり》と伝道の書に記されていますが、神の御旨は容易には計り知ることができません。開拓教会の会堂建築にも、被災教会の会堂再建にも、今後多くの困難が伴うであろうと思わされますが、そのすぐあとに《神のなされることは皆その時にかなって美しい》とあるように、私たちが目を留めるべきは、神の主権でありましょう。

中越沖地震の翌週、倒壊した柏崎聖光教会の礼拝堂の片付けを手伝いに行きました。倒れた会堂をさらに壊して、ゴミとして分別することは、それだけで心が痛む作業でした。その時、一緒に奉仕した牧師仲間と「礼拝堂を壊すのは正教師の仕事じゃないか？」などと話しました。もちろん冗談ですが、無造作に礼拝堂を破壊してはいけないのではないか、という思いがよぎったことは確かです。神事や仏事のような感覚とは全く異なり、先達の祈りと犠牲によって建ち、礼拝がまもられ続けてきた礼拝堂は、やはり特別な建物と言えるでしょう。「教会とは建物に非ず」などとも言われますが、一面的に過ぎます。実際に会堂建築は、関係者への経済的負担は大きく、利害とも無関係ではあり得ませんが、イエスを主と信じる信仰と、神の御業への参与の喜びが、それらにまさって実現します。こうして、《わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう》という、主イエスの言葉が現実のこととなり、私たちは神の御業に与るのです。

秦野の開拓も、柏崎の再建も、こうした神の守りと、そこに連なる人々の信仰と、さらに教区や教団の交わりによって進められて行くことでしょう。引き続き、祈りと献金の要請がなされる

と思いますが、ぜひ神の主権が明らかにされることを祈っていただきたいと思います。そして、私たちの間でなされようとする神の御業を、共に期待しながら歩いていきたいと願われます。主の平和をお祈り申し上げます。

わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。

* 9月9日 茅ヶ崎・萩園教会合同臨時総会

* 10月1日 教区臨時総会(予定)

会堂取得への働きを覚え、お祈りをお願い致します



8月19日礼拝出席者

活動のご報告

日曜日の会堂利用時間が限られるため特別行事でカバーしています。

・・・2007年度行事アルバム・・・



* ブラジルクッキング

ブラジル教会牧師夫人のご協力を得て、ブラジル家庭料理の講習会を行っています。

第一回 4月14日 4名+子供3名

第二回 7月21日 4名



* はだのウォークラリー

第二回 6月2日実施 10名参加

* 教区ファミリーキャンプ



8月7～9日 生徒5名参加(うち4名は初参加!)楽しい思い出と共に、それぞれが新しい決意を頂きました。ハレルヤ! 感謝!

今年度諸行事のためお祈り下さい。

集会案内

主日礼拝: 日曜日午後2時半～3時半

(教会学校も同時に開催!)

礼拝後にティータイム 楽しい交わりのひと時
ルデヤ会(祈り会): 水曜日 午後1時～

さんびとまなび会: 第2・4火曜日午後1時～

<http://hadano.org/>

〒257-0051 神奈川県秦野市今川町8-1

山茂ビル3F

電話:090-8128-8941

郵便物等は事務局宛へお願いします。

〒259-1301 秦野市羽根105-16 石川方

秦野開拓教会事務局